KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

M2GC7
M1GC7
M512C5

取扱説明書　保証書付 → 79

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

© B60-5648-00/02 (JJ) (110)

目次

本機の特長

● 高音質デジタルアンプ

● 音質向上技術「Supreme」搭載 → 55

● 主要オーディオデータ形式に対応：MP3, WMA, WAV

● 音楽配信 DRM 対応 (Windows Media Technology)

● 単 4 形充電式電池付属／単 4 形アルカリ電池も使用可能 → 17

● 好みに合わせてディスプレイのテーマカラーを設定可能 → 65

● FM チューナー搭載 → 33（M2GC7、M1GC7）

● パソコンを使わずに録音できるダイレクトエンコーディング機能を搭載 → 45（M2GC7、M1GC7）

安全上のご注意

⚠：本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスク・メモリーなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

警　告

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

運転中はヘッドホンを使用しない

自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用する場合、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。
交通事故の原因となります。

運転中は操作しない

自動車やオートバイ、自転車など運転中の操作は行わない。
交通事故の原因となります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を停めてから行ってください。

運転中は画面を注視しない

交通事故の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

充電端子や電池端子をショート（短絡）させない

充電端子や電池端子を金属などでショート（短絡）させないでください。
火災、液もれ、故障の原因となることがあります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災、液もれの原因となることがあります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災、液もれの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"＋"とマイナス"－"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 充電式電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。
- 電池および充電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 充電式電池を携帯、保管するときは、付属の充電池ケースに入れる。
- 充電池に貼ってあるビニールカバーを、はがさない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機を熱器具に近づけない
本機を熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
火災、液もれの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
油煙や湯気のあたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災、液もれの原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災、液もれの原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

充電式電池使用上のご注意（ニッケル水素充電式電池・NB-3A90）

- 本機の充電式電池にはニッケル水素充電式電池を使用しております。この充電式電池は使用しなくても残量が減っていくため、最低 2 か月に 1 回は充電してください。
- 充電式電池は約 300 回充電することができます。
- 充電しても使用時間が短かくなったときは、充電式電池を新しいものと交換してください。（別売品 NB-3A90 をご使用ください）
- 本機は電源が切れているときでも、わずかに電流が流れます。長い間使用しないときは、充電式電池を外しておいてください。
- 充電中や使用中に、充電式電池が暖かくなることがありますが異常ではありません。

充電式電池のリサイクル

プレーヤーの付属電池は、ニッケル水素充電式電池を使用しています。ニッケル水素充電式電池はリサイクル可能な資源です。

付属電池を廃棄する際には、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する情報：

有限責任中間法人 JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.com

取扱いに関すること

- ディスプレイに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れないでください。押されたときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また､ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- **汗や湿気に注意する**
  本機を夏場の胸ポケットに入れて長時間使用したり、運動中に使用すると内部に水分や汗などが浸入して誤動作、故障の原因となります。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽 CD などを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。

このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。
特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

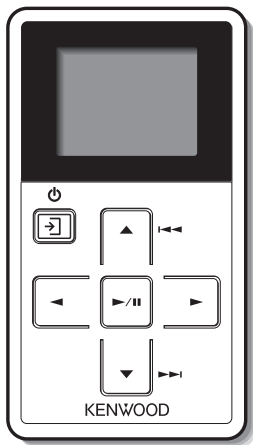
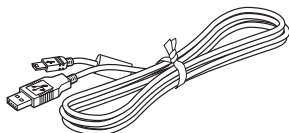
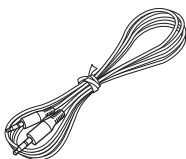
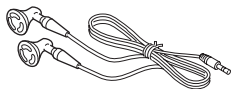
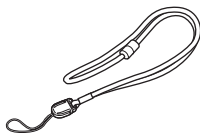
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

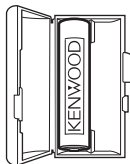
プレーヤーの製造年表示は電池ボックスの内側にあります。電池カバーを開けると表示を見ることができます。

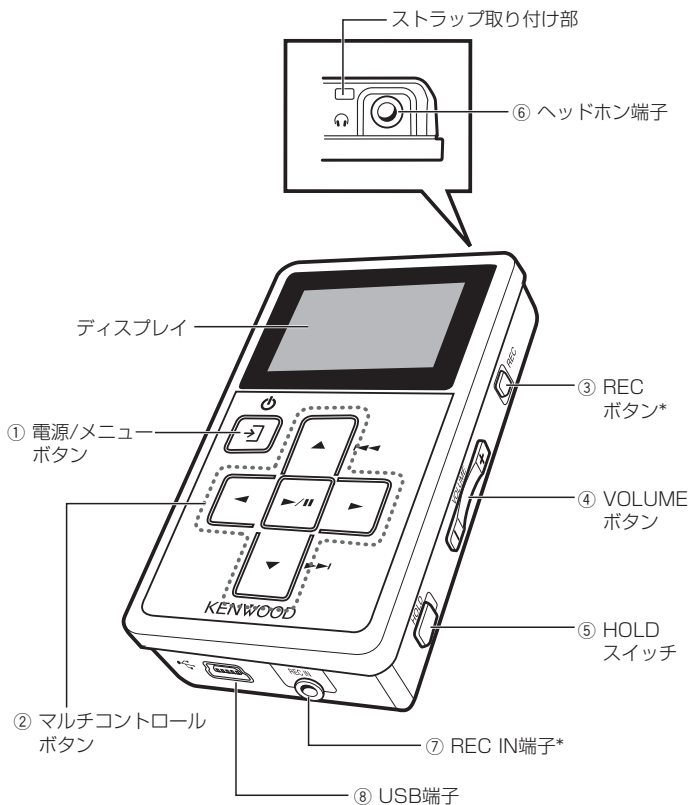
Supremeは、株式会社ケンウッドの商標です。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

付属品の確認

プレーヤー本体

USBケーブル

ライン入力ケーブル
（M2GC7/M1GC7のみ）

ヘッドホン

ストラップ

取扱説明書
（保証書付）

充電式電池

各部の名称とはたらき

* M2GC7/ M1GC7のみ

① ⏻/→] 電源/メニューボタン

- メニューを表示します。もう一度押すと、メニューを消せます。
- ボタンを押し続けると、電源をオン/オフできます。
- ディスプレイが消えている場合(スクリーンセーバー中)は、ディスプレイを表示します。

② マルチコントロールボタン

▲ 上ボタン

- カーソルを上に移動します。
- 再生中は、曲の先頭に戻ります。先頭で押すと、1つ前の曲に戻ります。
- ボタンを押し続けると、押している間、早戻しされます。
- FMラジオを聞くときは、選局に使います。

▼ 下ボタン

- カーソルを下に移動します。
- 再生中は、次の曲に進みます。
- ボタンを押し続けると、押している間、早送りされます。
- FMラジオを聞くときは、選局に使います。

◀ 左ボタン

- 1つ前(左)の画面に戻ります。たとえば、再生画面からトラックリストへ戻ります。
- ボタンを押し続けると、ホーム画面に戻れます。
- ポップアップメニューを消すときにも使います。

▶ 右ボタン

- 項目を決定して次(右)へ進みます。

▶/II プレイ/ポーズボタン

- 曲を再生/一時停止します。
- メニュー画面では、選んだ項目を決定します。
- FMラジオを聞くときは、選局モードを切り替えます。

③ RECボタン*

- FMラジオやREC IN端子に接続したCDやMDなどの音楽の録音を開始/停止します。

④ VOLUMEボタン

- 音量を大きく(+)/小さく(−)します。ボタンを押し続けると、徐々に音量が変わります。

⑤ HOLDスイッチ

- すべてのボタン操作を受け付けなくなります。カバンなどに入れて持ち運ぶときに、プレーヤーの誤操作を防ぎます。

⑥ ヘッドホン端子

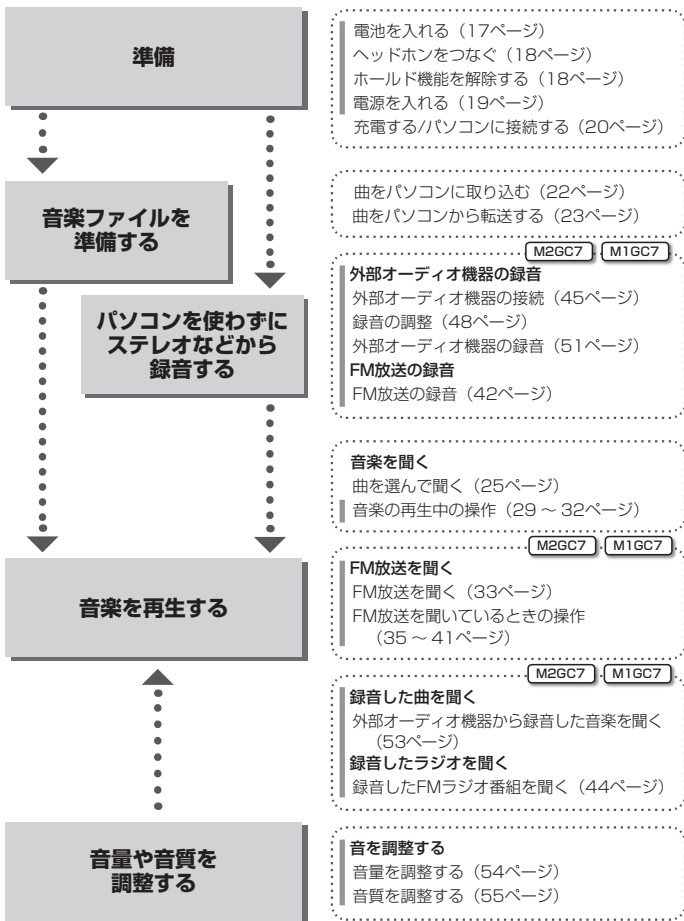
- 付属のステレオヘッドホンを接続します。

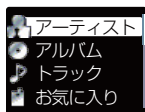
⑦ REC IN端子*

- 録音したいCDやMDプレーヤーなど(外部オーディオ機器)を付属のライン入力ケーブルで接続します。

⑧ USB端子

- 音楽ファイルを転送するときや充電するときに、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。

音楽を聞くまでの流れ

▌の印はパソコンを使わなくても使用できる機能です。

画面表示アイテム

ホーム画面
アーティスト
アルバム
トラック
お気に入り
ポップアップメニュー
ホーム画面へ
Supreme
サウンドモード
再生モード
アーティスト (25ページ)
アルバム (25ページ)
トラック (25ページ)
お気に入り (25ページ)
ジャンル (25ページ)
リリース年 (25ページ)
録音ファイル (44,53ページ)
フォルダ (57ページ)
FMラジオ (33ページ)
ライン入力 (46ページ)
設定 (64ページ)
ホーム画面へ
Supreme (55ページ)
サウンドモード (55ページ)
再生モード (31ページ)
お気に入りに追加 (32ページ)
お気に入りから削除 (32ページ)
スキップ+ (30ページ)
スキップ− (30ページ)
タイマー設定 (62ページ)
プロパティ (曲情報の表示)
イルミネーション (65ページ)
明るさ (65ページ)
スクリーンセーバー (65ページ)
オートパワーオフ (65ページ)
ビープ (65ページ)
テーマカラー (65ページ)
言語 (66ページ)
フォーマット (67ページ)
初期化 (67ページ)
システム情報 (65ページ)
ホーム画面へ
タイマー設定 (62ページ)
録音ビットレート (43ページ)
ステレオモード (41ページ)
プリセット登録 (39ページ)
プリセット削除 (40ページ)
オートプリセット (38ページ)
地域 (35ページ)
リナンバー (60ページ)
FM (44ページ)
LINE (53ページ)
ホーム画面へ
タイマー設定 (62ページ)
録音ビットレート (50ページ)
録音レベル (50ページ)
シンクロ録音 (52ページ)
リナンバー (60ページ)

用語解説

MP3：

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率（128 kbps時）が得られます。

WAV：

Windowsの標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）：

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

タグ情報：

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。

Supreme（サプリーム）：

MP3やWMAなどオーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し補間することで、リアルなサウンドを蘇らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

USB：

パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。
本プレーヤーはUSB 1.1，2.0に対応しています。

DRM：

デジタル化されたコンテンツの著作権を守るための技術です。これを利用すると、許可されたハードウェアまたはソフトウェアでしかコンテンツを再生できないようにすることができます。

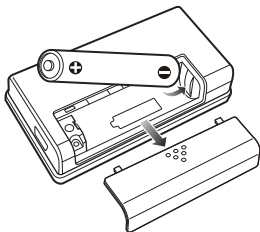
WMP（Windows Media Player）：

Windowsに添付されている米国マイクロソフト社製のソフトウェアで、音楽CDの取り込み、再生、および管理を行います。
Windows Media Player 10または9でパソコンから本プレーヤーにオーディオファイルを転送できます。

リッピング：

音楽CDなどのデジタルデータをパソコンに取り込むことです。

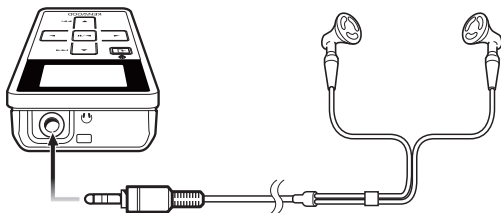
電池を入れる

付属の充電式電池をプレーヤー本体に入れます。
また、市販の単四形アルカリ乾電池（LR03）も使用できます。

⚠警告 電池のアルカリ液が目、皮膚に付着したときは失明やけがのおそれがありますので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

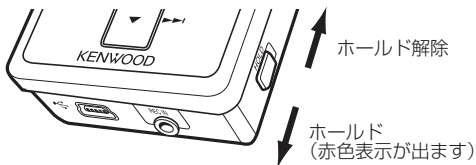
⚠注意 電池を入れるときは必ず⊖極側から入れてください。無理に取り付けると、電池の被膜が破れ、ショートし、破裂、液漏れ、やけどの原因となることがあります。

- 本プレーヤーをパソコンに接続し、十分に充電してから使用してください。
- 画面に （白色）が表示されたら、パソコンに接続して充電してください。
- 充電式電池は必ず付属または別売のNB-3A90を使用し、ケンウッド専用のもの以外は絶対に使用しないでください。指定の充電池以外は充電できません。充電式電池の注意事項は9ページをご覧ください。
- 乾電池を使用する場合は、アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池などでは正常に動作しないことがあります。

ヘッドホンをつなぐ

付属のステレオヘッドホンをプレーヤーに接続します。

● ヘッドホンはアンテナも兼ねているので、FMラジオを聞くときには必ず接続してください。（M2GC7/ M1GC7のみ）

ホールド機能について

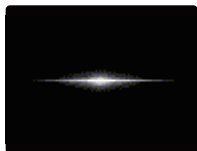
プレーヤーをカバンなどに入れて携帯するときなど、誤操作を防ぐためにすべてのボタンを無効にすること（ホールド機能）ができます。
プレーヤーを操作する際は、ホールドを解除してください。

MEMO

● ホールド機能をオンにしたとき、スクリーンセーバー中は、電源/メニューボタンが5秒間に2回点滅します。また、ディスプレイが表示されている場合は、「」が表示されます。

電源を入れる／切る

1 **プレーヤーの電源を入れます。**

ディスプレイにケンウッドのロゴが表示されるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。最後に電源を切ったときのモードになります。

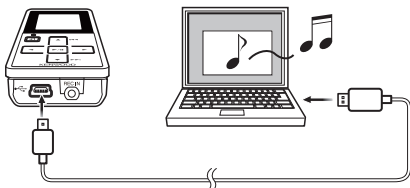
2 **プレーヤーの電源を切ります。**

ディスプレイが消えるまで、電源/メニューボタンを押し続けます。

● 操作しないで一定時間が過ぎると、自動的に画面がオフになります（スクリーンセーバー）。スクリーンセーバー中は、電源/メニューボタンが5秒間に1回点滅します。スクリーンセーバーの時間は変更できます（65ページ）。

充電する／パソコンに接続する

本プレーヤーにパソコンから曲を転送したり、本プレーヤーを充電するために、本プレーヤーとパソコンを接続します。

充電する／パソコンと接続する

付属のUSBケーブルを使って、プレーヤーとパソコンを接続します。

MEMO
- 本プレーヤーを接続する前にパソコンを起動しておいてください。
- 本プレーヤーは、パソコンに接続すると自動的に電源がオンになります。
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSB端子に直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。

必要なパソコンのシステム構成

OS	Microsoft® Windows® XP/2000（日本語版）
USB端子	USB 1.1/2.0 規格に準拠（USB 2.0 を推奨）

MEMO
- 上記に適合するすべての環境について動作保証するものではありません。
- 上記OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。

充電と電池表示について

表示	説明
(電池アイコン 3→2→1) (白)	電池の残量を表示します。
(電池アイコン 1→2→3) (赤)	充電中の表示です。
(電池アイコン 空) (白)	電池の残量がありません。充電式電池を充電してください。
(電池アイコン 赤枠) (赤)	電池が取り付けられていません。または、充電できません。
⏻ (点灯)	充電中です。
⏻ (消灯)	消えると充電完了です。

約3時間で充電が完了します。

MEMO
- 本プレーヤーで充電できるのは、付属または別売の充電式電池NB-3A90だけです。ケンウッド専用のもの以外は絶対に使用しないでください。

接続モードを選択する

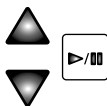
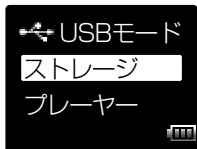
本プレーヤーとパソコンを接続するときには、次の2つのモードがあります。

● ストレージモード
　データ転送と充電を行います。このモードで接続しているときは、本プレーヤーは操作できません。

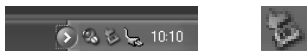
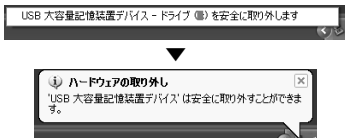
● プレーヤーモード
　充電しながら、再生などプレーヤー本体を操作することができます。このモードで接続しているときは、パソコンからのデータ転送は行えません。

1　**パソコンと接続します。**

20ページをご覧ください。

2　**接続モードを選択します。**

USBを接続すると接続モード選択画面が表示されます。
プレイ/ポーズボタンで決定します。

パソコンから取り外すときは

1　**[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。**

2　**[USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します]をクリックします。**

安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーからUSBケーブルを抜いてください。

MEMO
● プレーヤーモードで接続している場合は、そのままUSBケーブルを抜いてください。

曲をパソコンに取り込む

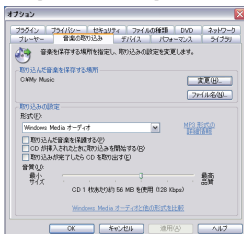
プレーヤーで再生する音楽ファイルは、まずパソコンに取り込んでおきます。パソコンへの取り込みには、Windows Media Player 10/9などのリッピングソフトを使用します。

Windows Media Player 10/9で取り込むときは

音楽CDをWindows Media Player10/9でパソコンに取り込みます。
その後、本プレーヤーに転送します。（説明はWindows Media Player10の場合です）

1 Windows Media Playerを起動します。
2 [取り込み]をクリックします。
3 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
4 取り込みたい曲にチェックマークが付いていることを確認します。
5 [音楽の取り込み]をクリックします。

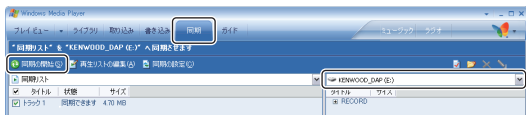
チェックマークの付いている曲が取り込まれます。

● Windows Media Playerで曲を取り込むときの保存先フォルダやファイル形式などについては、[ツール]メニュー→[オプション]で表示されるオプションダイヤログの[音楽の取り込み]タブで設定できます。

● プレーヤで再生できるオーディオデータのファイル形式は、MP3（*.mp3)、WMA（*.wma)、およびWAV（*.wav）です。詳しくは、「定格」（74ページ）をご覧ください。
● パソコンを使わずに曲を取り込むこともできます（45ページ）。
● 音楽CDの取り込み操作の詳細については、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。

曲をプレーヤーに転送する

パソコンに取り込んである曲を、プレーヤーに転送します。

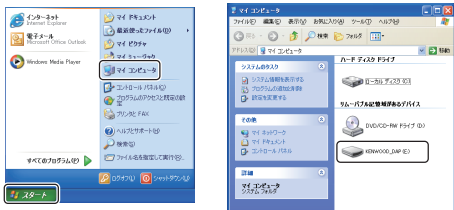
Windows Media Player 10/9で同期するときは

1. プレーヤーを接続します。
2. Windows Media Playerを起動します。
3. [同期]をクリックします。
4. 画面右側で、本プレーヤーに相当するリムーバブルディスク(KENWOOD_DAP)を選択します。
5. 転送する曲を同期リストに追加します。
6. [同期の開始]をクリックします。

- Windows Media Player 10/9などソフトの操作方法は、お使いのソフトの説明書やヘルプなどをご覧ください。
- 音楽ファイルの転送前に、Windows Media Player 10/9上でジャンル、アーティスト名、アルバム名、曲名などが正しいことを確認してください。

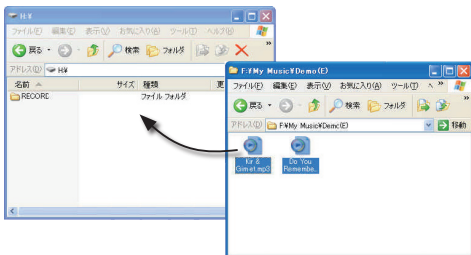
ドラッグ＆ドロップで転送するときは

Windows Media Playerのライブラリに登録されていない曲をプレーヤーに転送するときは、Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスクから本プレーヤー（Windows上では「KENWOOD_DAP」）へドラッグ＆ドロップします。コピー＆ペーストでも行えます。

1　**本プレーヤーに相当するリムーバル ディスクを開きます。**

「スタート」ー「マイ コンピュータ」ー「KENWOOD_DAP」とクリックまたはダブルクリックします。

2　**音楽ファイルが入っているフォルダを開きます。**

3　**転送する音楽ファイルをリムーバル ディスクにドラッグ＆ドロップします。**

MEMO

● Windows Media Player10/9で音楽CDの曲をパソコンに取り込むときに、コピー禁止が設定されていると、プレーヤーへの転送方法が Windows Media Player10/9のみに限定されます。ドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストでは転送できません。

曲を選んで聞く

聞きたい曲を選んで再生します。

アーティスト	アーティスト名→アルバム名→曲と選択します。
アルバム	アルバム名→曲と選択します。
トラック	曲名から選択します。
お気に入り	お気に入りに登録されている曲から選択します。
ジャンル	ジャンル→アーティスト名→アルバム名→曲と選択します。
リリース年	リリース年→曲と選択します。
録音ファイル	「FM」(FM放送の録音)または「LINE」(外部オーディオ機器からの録音) からファイルを選択します。
フォルダ	フォルダから階層をたどってファイルを選択します。

大項目を選ぶとその下の中項目のリストが表示されます。
再生する項目（曲や項目名）が表示されたときにプレイ/ポーズボタンを押すと、再生が始まります。
再生する順番は、アルバム名から曲を選択するとアルバム内の曲順になり、そのほかで選択すると曲名順になります。

1 **ヘッドホンをつなぎ、プレーヤーの電源を入れます。**

18、19ページをご覧ください。

2 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

3 **大項目を選択します。（たとえば、「アルバム」を選択します）**

上下ボタンを押して、カーソルを選択する項目に合わせます。

4 **大項目を決定します。（たとえば、「アルバム」の選択を決定します）**

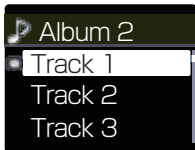
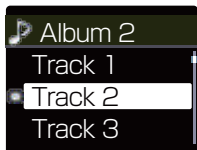
右ボタンを押して、選択されている項目を決定します。
大項目のリスト（中項目）が表示されます。

5 **中項目を選択します。（たとえば、「Album2」（アルバム名）を選択します）**

6 **中項目を決定します。（たとえば、「Album2」の選択を決定します）**

ここでプレイ/ポーズボタンを押すと、選んでいる中項目内のすべての曲を再生できます。
たとえば、あるアルバム名を選んでいるときにプレイ/ポーズボタンを押すと、そのアルバム内のすべての曲を再生できます。

7 **曲を選択します。（たとえば、「Track2」（曲名）を選択します）**

音楽を聞く

8　**曲を再生します。（たとえば、「Track2」の選択を決定します。）**

手順6で決定した中項目内の曲のうち、手順7で選択した曲から再生されます。
例では、「Album2」の「Track2」から再生されます。

MEMO

- 曲にタグ情報が記録されていないと「No information」に分類されます。
- 選びなおすときは左ボタンを押します。１つ前の画面に戻ります。
- 最初からやりなおすときは、左ボタンを押し続けます。ホーム画面に戻ります。
- ここでは「選択」と「決定」を2つの手順（たとえば手順3と4）で示していますが、以降のページでは1つの手順で示します。

再生中の画面

再生中の画面には、いろいろな情報が表示されています。

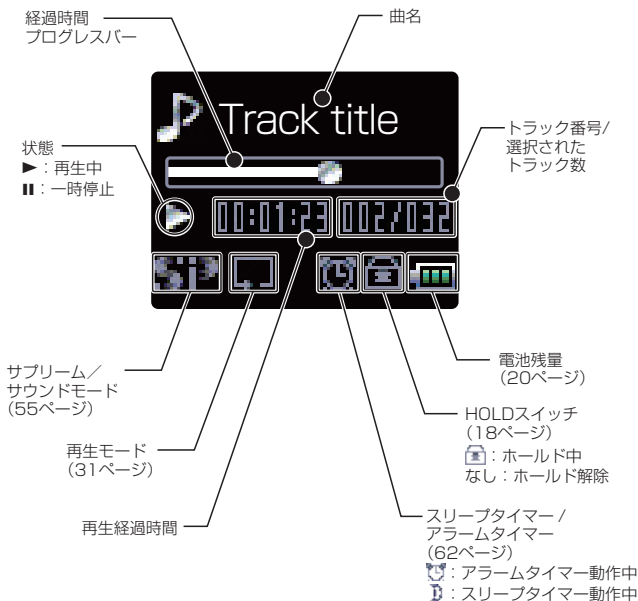
再生中の操作

電源/メニューボタン
ポップアップメニューを表示します。
スクリーンセーバー中はディスプレイを表示します。

左ボタン
曲のリストを表示します。

プレイ/ポーズボタン
再生中：
再生を一時停止します。
一時停止中：
再生を始めます。

上ボタン
再生中：
押すたびに、現在の曲または前の曲の先頭から再生します(スキップダウン)。
長く押すと、押している間、曲を早戻しします。
一時停止中：
押すたびに、現在の曲または前の曲に変わります（スキップダウン)。
長く押すと、押している間、連続して前の曲に替わります。

下ボタン
再生中：
押すたびに、次の曲を再生します(スキップアップ)。
押し続けると、押している間、曲を早送りします。
一時停止中：
押すたびに、次の曲に変わります(スキップアップ)。
押し続けると、押している間、連続して次の曲に替わります。

- 一時停止したまま一定時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ)。オートパワーオフの時間は変更できます（65ページ)。
- 曲の再生中にポップアップメニューを表示して「プロパティ」を選択すると、現在再生中の曲の情報が表示されます。

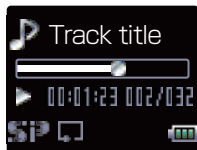
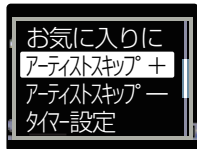
アイテムスキップするときは

次のアイテム単位で、再生する曲をスキップできます。

アーティストスキップ	次（アーティストスキップ+）または前（アーティストスキップー）のアーティストの曲に替わります。
アルバムスキップ	次（アルバムスキップ+）または前（アルバムスキップー）のアルバムの曲に替わります。
ジャンルスキップ	次（ジャンルスキップ+）または前（ジャンルスキップー）のジャンルの曲に替わります。
リリース年スキップ	次(リリース年スキップ+) または前(リリース年スキップー)のリリース年の曲に替わります。

スキップするアイテムは、現在再生している曲を選んだ分類によります。（25ページ）

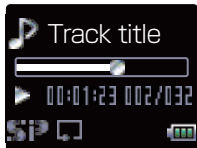
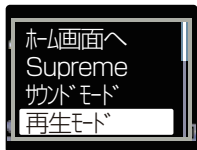
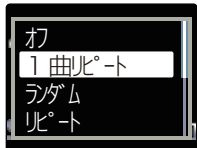
1

再生中の画面でポップアップメニューを表示します。

2 **「アーティストスキップ+」または「アーティストスキップー」を選択します。**

曲を選んだ分類により、「アーティストスキップ」、「アルバムスキップ」、「ジャンルスキップ」、「リリース年スキップ」に表示が変わります。

再生モードいろいろ

曲の再生順序を6種類から選択できます。

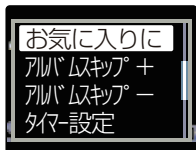
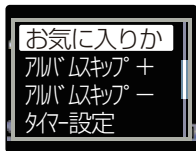
オフ	リスト内の曲を再生し停止します。
1曲リピート	同じ曲を繰り返し再生します。
ランダム	リスト内の曲をランダムに1回ずつ再生します
リピート	リスト内の曲を繰り返し再生します。
リピートランダム	リスト内の曲をランダムに再生し、これを繰り返します。
イントロ再生	リスト内の曲のイントロ部分を10秒ずつ再生します。

リスト内の曲は、現在再生している曲を選んだ分類によります。（25ページ）

お気に入りに追加する／削除する

好きな曲をお気に入りに集めておけば、いつでもまとめて聞くことができます。

1 **目的の曲を再生し、ポップアップメニューを表示します。**

2 **「お気に入りに追加」を選択します。**

3 **お気に入りに入れた曲を取り消すには…**

お気に入りか
アルバムスキップ ＋
アルバムスキップ －
タイマー設定

その曲の再生中に同様の手順で、「お気に入りから削除」を選択してください。

MEMO

- お気に入りに登録されている曲を再生するときは、ホーム画面の「お気に入り」を選択してください。
- お気に入りには30曲まで登録できます。

FMラジオに切り替える

M2GC7
M1GC7

本プレーヤーでFMラジオ放送を聞くことができます。

1 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2 **FMラジオモードに切り替えます。**

● ヘッドホンはアンテナも兼ねているので、FMラジオを聞くときには必ず接続してください。

FMラジオの画面

M2GC7
M1GC7

FMラジオの画面には、いろいろな情報が表示されています。

FM放送を聞く

選局する

M2GC7
M1GC7

オート選局する

受信可能なFMラジオ局を自動で探します。

1 **選局モードをオートモードに切り替えます。**

ボタンを押すたびに、選局モードが「オート」→「マニュアル」→「プリセット」の順に切り替わります。

2 **オート選局します。**

▲：周波数を下げながらオート選局します。
▼：周波数を上げながらオート選局します。

- お買い上げ時には、選局モードは「オート」に設定されています。
- ポップアップメニューの「地域」を操作すると、選局できる周波数が変わります。
  通常は、お買い上げ時の状態（「日本」）のままでご使用ください。
  海外など旅行先で受信する場合は、「その他の地域」に設定してください。

マニュアル選局する

FMラジオ局をマニュアル操作で探します。

1 **選局モードをマニュアルモードに切り替えます。**

ボタンを押すたびに、選局モードが「オート」→「マニュアル」→「プリセット」の順に切り替わります。

2 **選局します。**

▲：周波数を下げます。
▼：周波数を上げます。
上または下ボタンを押し続けると、押している間、連続して周波数が変わります。

MEMO
- お買い上げ時には、選局モードは「オート」に設定されています。
- ポップアップメニューの「地域」を操作すると、選局できる周波数が変わります。通常は、お買い上げ時の状態（「日本」）のままでご使用ください。海外など旅行先で受信する場合は、「その他の地域」に設定してください。

プリセット選局する

記憶（プリセット）されているFMラジオ局を聞きます。

1 **選局モードをプリセットモードに切り替えます。**

ボタンを押すたびに、選局モードが「オート」→「マニュアル」→「プリセット」の順に切り替わります。

2 **プリセット番号を選びます。**

△：前のプリセット番号を選びます。

▽：先のプリセット番号を選びます。

MEMO

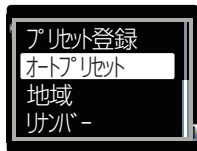
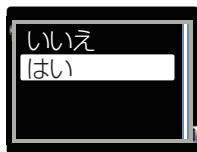
- プリセットの方法については、38 ～ 40ページをご覧ください。
- お買い上げ時には、選局モードは「オート」に設定されています。
- ポップアップメニューの「地域」を操作すると、選局できる周波数が変わります。
  通常は、お買い上げ時の状態（「日本」）のままでご使用ください。
  海外など旅行先で受信する場合は、「その他の地域」に設定してください。

FMラジオ局をプリセットする

自動で選局してプリセットする

受信状態の良いFMラジオ局を自動的に探して、まとめて記憶できます（オートプリセット）。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

2 **「オートプリセット」を選択します。**

3 **「はい」を選択します。**

受信状態の良いFMラジオ局が次々とプリセットされます。

MEMO
- FMラジオ局は、32局まで記憶（プリセット）できます。
- ポップアップメニューの「地域」の設定を変えると、プリセットしたすべてのFMラジオ局が削除されます。

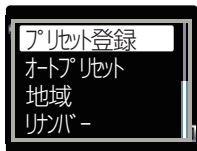
手動で選局してプリセットする

オートプリセットされなかったFMラジオ局を、マニュアル選局して記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

1 **プリセットするラジオ局を選局します。**

35～36ページをご覧ください。

2 **ポップアップメニューを表示します。**

3 **「プリセット登録」を選択します。**

4 **プリセット番号を選択します。**

記憶されていないプリセット番号では、中段に「---- MHｚ」と表示されます。
すでに記憶された番号のときは、その周波数が表示されます。

プリセットしたFMラジオ局を消す

プリセットしてあるFMラジオ局を消します。

1 **選局モードを「プリセット」にしてプリセット番号を選びます。**

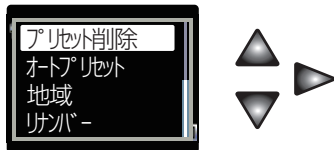
37ページをご覧ください。

2 **ポップアップメニューを表示します。**

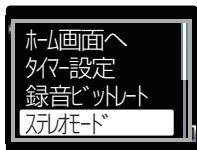
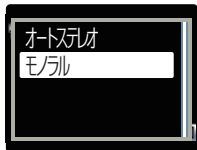
3 **「プリセット削除」を選択します。**

4 **「はい」を選択します。**

モノラルで聞く

M2GC7
M1GC7

ステレオ放送をモノラルで聞きます。
受信状態の良くない放送を聞くときには、音声をモノラルにすると、雑音が軽減されて、聞きやすくなる場合があります。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

2 **「ステレオモード」を選択します。**

3 **モノラルに切り替えます。**

● 手順3で「オートステレオ」を選択すると、オートステレオモードに戻せます。
● お買い上げ時の状態では「オートステレオ」に設定されています。

FM放送を録音する

FMラジオ番組を録音することができます。

1 **録音するFMラジオ番組に合わせます。**

35 ～ 37ページをご覧ください。

2 **録音を開始します。**

録音（）インジケータが表示されるまで、RECボタンを押し続けます。

3 **録音を終了するときは**

REC

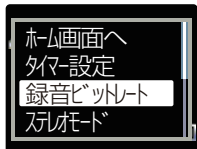
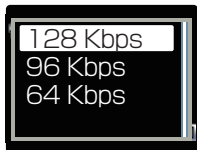
RECボタンを押します。

- 1つの録音ファイルとして録音できる時間は、最長99分59秒までです。
- 録音ファイルは、WMA形式で録音され、「FM001.wma」～「FM999.wma」の順でファイル名が付けられます。録音ファイルは、999ファイルまで作成できます。
- 録音ファイル名は、途中の番号のファイルが削除されていても、最後に割り当てられた次の番号になります。
- 録音ファイルを削除することもできます（58ページ）。
- 録音ファイル名を「FM001.wma」から順番に番号を付けなおすこともできます（60ページ）。
- 録音ファイルは、ホーム画面の「録音ファイル」－「FM」に保存されます。
- 録音ファイルをパソコンにコピーすることができます。録音ファイルは「マイ コンピュータ」－「KENWOOD_DAP」－「RECORD」－「FM」フォルダ内に保存されています。

録音ビットレートを設定するときは

FMラジオ番組を録音するときには、ビットレートを設定できます。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

2 **「録音ビットレート」を選択します。**

3 **ビットレートを決めます。**

- ビットレートを高くすると、音質は良くなりますが、ファイルサイズが大きくなります。
- 録音ビットレートについては、48ページもご覧ください。
- お買い上げ時の状態では、ビットレートは「128 Kbps」に設定されています。

録音したFMラジオ番組を聞く

M2GC7
M1GC7

本プレーヤーで録音した録音ファイルを再生します。

1 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2 **「録音ファイル」を選択します。**

3 **「FM」を選択します。**

ここでプレイ/ポーズボタンを押すと、フォルダの先頭の録音ファイルが再生されます。

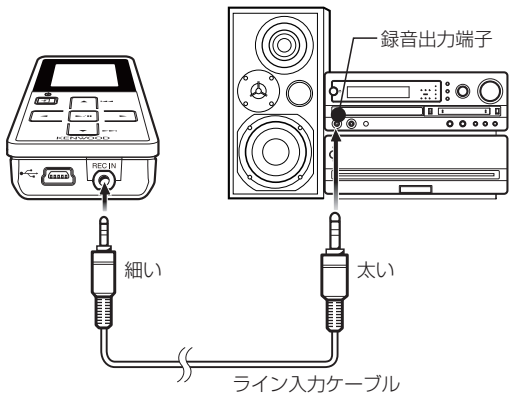
4 **聞きたい録音ファイルを選択します。**

▲：古い録音ファイルに戻ります。
▼：新しい録音ファイルに進みます。

MEMO
● 再生を停止する場合は、プレイ/ポーズボタンを押します。

外部オーディオ機器に接続する

M2GC7
M1GC7

本プレーヤーのREC IN端子にステレオセットやCD/MDプレーヤーなどの外部オーディオ機器を接続して、音楽を録音できます。

- 接続する外部オーディオ機器の出力端子に合わせて、ステレオ標準プラグやRCAピンプラグへのアダプタ（市販品）を用意してください。
- 本プレーヤーはデジタルオーディオプレーヤーリンクに対応しています（71ページ）。

ライン入力モードに切り替える

M2GC7
M1GC7

外部オーディオ機器で再生する音楽を、本プレーヤーのライン入力モードで録音します。

1 **ホーム画面を表示します。**

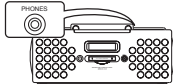
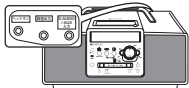
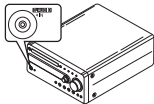
左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2 **ライン入力モードに切り替えます。**

ライン入力モードの画面

M2GC7
M1GC7

ライン入力モードの画面には、いろいろな情報が表示されます。

録音の調整

録音ビットレートについて

録音ビットレートとは、入力されたアナログ信号をデジタル化するときの設定です。
高いビットレートを使用すると、音質は良くなりますが、ファイルサイズが大きくなって、録音できる曲数が減ります。

録音レベルについて

接続した外部オーディオ機器に合わせて録音レベルを設定します。

外部オーディオ機器	録音レベルの目安
ポータブルCDプレーヤーなどのヘッドホン端子（49ページ参照）	High
ラジカセなどのヘッドホン端子（49ページ参照）	High
ラジカセなどの録音出力（ラインアウト）端子	Mid
ステレオセットなどの録音出力（ラインアウト）端子	Mid
高出力な録音出力（ラインアウト）端子	Low

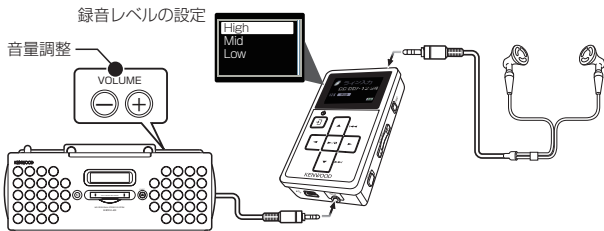
● 録音する前に、必ず試し録音して、録音レベルを調整してください。
録音レベルが小さいと、再生音が小さくなります。設定を「Mid」から「High」へと変えてください。
録音レベルが大きいと、音がひずんだり、“ザー”とノイズが入ったりします。設定を「Mid」から「Low」へと変えてください。
● 外部オーディオ機器のヘッドホン端子から録音する場合は、49ページもご覧ください。

外部オーディオ機器のヘッドホン端子に接続する場合

録音レベルの調整は、外部オーディオ機器の音量調整で行います。
試し録音を繰り返して、適切な録音レベルに調整してください。

1 **本プレーヤーの録音レベルを「High」に設定します。**
設定方法は50ページをご覧ください。
手順3で音量を調整しても音がひずんだり、“ザー”とノイズが入る場合は、録音レベルを「Mid」または「Low」に設定を変えてください。

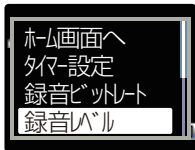
2 **外部オーディオ機器の音量を調節します。**
あらかじめ外部オーディオ機器にヘッドホンを接続し、音が割れない範囲で、ボリュームを少し大きめに調整しておいてください。

3 **本機にヘッドホンを接続して音量を確認します。**
音を確認しながら外部オーディオ機器の音量を調整します。

MEMO
- 適切なレベルで録音できたら、本プレーヤーでの録音レベルの設定、外部オーディオ機器のボリュームの位置を控えておくことをお勧めします。次回以降の録音が便利になるほか、録音する曲により音量が変わることも防げます。
- 外部オーディオ機器のヘッドホン端子を使用して録音するときは、外部オーディオ機器から音が聞こえません。録音の進み具合を確認するときは、本プレーヤーのヘッドホン端子にヘッドホンを接続して音を聞いてください。
- 外部オーディオ機器のヘッドホン端子から接続ケーブルを外すときは、外す前に外部オーディオ機器の音量を下げてください。大きな音が出る場合があります。

録音レベルと録音ビットレートを設定する

録音する外部オーディオ機器や録音する曲数などを考慮して、録音レベルと録音ビットレートを設定します。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

2 **「録音ビットレート」または「録音レベル」を選択します。**

3 **設定を行います。**

録音レベルまたは録音ビットレートを選択します。

● お買い上げ時の状態では、録音レベルは「Mid」、録音ビットレートは「128 Kbps」に設定されています。

外部オーディオ機器の音楽を録音する

M2GC7
M1GC7

外部オーディオ機器で再生した曲を録音します。

1 **録音を開始します。**

REC

RECボタンは、録音（●）インジケータが表示されるまで押し続けます。

シンクロ録音のときは…

REC

RECボタンは、録音（●/ ）インジケータが表示されるまで押し続けます。
音楽が始まると自動的に録音が始まり、終わると一時停止します。
シンクロ録音の設定については52ページをご覧ください。

2 **録音を終了するときは**

REC

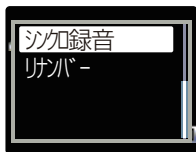
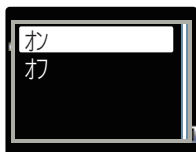
MEMO

- 1つの録音ファイルとして録音できる時間は、最長99分59秒までです。
- 録音ファイルは、WMA形式で保存され、「LINE001.wma」～「LINE999.wma」の順でファイル名が付けられます。録音ファイルは、999ファイルまで作成できます。
- 録音ファイル名は、途中の番号のファイルが削除されていても、最後に割り当てられた次の番号になります。
- 録音ファイルを削除することもできます（58ページ）。
- 録音ファイル名を「LINE001.wma」から順番に番号を付けなおすこともできます（60ページ）。
- 録音ファイルは、ホーム画面の「録音ファイル」－「LINE」に保存されます。
- 録音ファイルをパソコンにコピーすることができます。録音ファイルは「マイ コンピュータ」－「KENWOOD_DAP」－「RECORD」－「LINE」フォルダ内に保存されています。

音楽に合わせて録音開始/停止するときは

音楽が始まると自動的に録音を開始し、終わると一時停止します（シンクロ録音）。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

2 **「シンクロ録音」を選択します。**

3 **「オン」を選択します。**

4 **録音を開始します。**

51ページをご覧ください。

MEMO

- シンクロ録音をオンに設定しただけでは録音されません。
  シンクロ録音をオンに設定した後にRECボタンを押すと録音一時停止状態になり、この状態のときに外部オーディオ機器で音楽の再生が始まると、録音が始まります。音楽が終了すると、録音一時停止状態に戻ります。
- お買い上げ時の状態では、シンクロ録音は「オン」に設定されています。

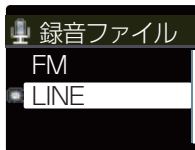
外部オーディオ機器から録音した音楽を聞く M2GC7 M1GC7

外部オーディオ機器から録音した曲を再生します。

1 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

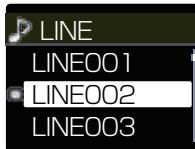
2 **「録音ファイル」を選択します。**

3 **「LINE」を選択します。**

ここでプレイ/ポーズボタンを押すと、フォルダの先頭の録音ファイルが再生されます。

4 **聞きたい音楽ファイルを選択します。**

▲：古い録音ファイルに戻ります。

▼：新しい録音ファイルに進みます。

MEMO

● 再生を停止する場合は、プレイ/ポーズボタンを押します。

音量や音質を調整する

音量を調整する

音量を調整します。

1 **音量レベルを選択します。**

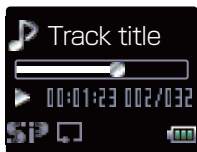
ボタンを押し続けると、徐々に音量が大きく/小さくなります。

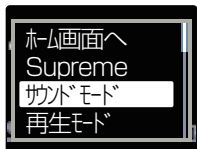
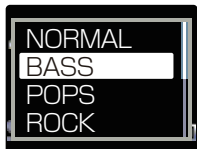
● 音量の上げすぎには十分ご注意ください。

音質を調整する（サプリーム、サウンドモード）

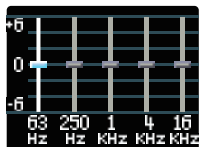
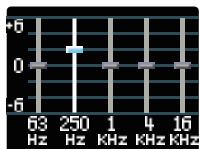
音質（音響効果）を9種類から選択できます。

Supreme（サプリーム）		オン	ケンウッド独自の音質向上技術で、MP3やWMAの圧縮時に失われた高音域を補間してリアルなサウンドを創ります。
サウンドモード		NORMAL	通常の音質で再生します。
		BASS/ POPS/ ROCK/ JAZZ/ DANCE/ VOICE	音楽に合わせて、ジャンルを選べます。
		CUSTOM	5バンドカスタムイコライザでお好みの音質を設定できます。

1 **ポップアップメニューを開きます。**

再生画面が表示されているときに操作します。

2 **「Supreme」または「サウンドモード」を選択します。**

3 **設定するモードを選択します。**

「Supreme」を選択したときは「オン」または「オフ」、「サウンドモード」を選択したときは音楽のジャンルまたは「CUSTOM」を選択します。

「CUSTOM」を選択した場合は…

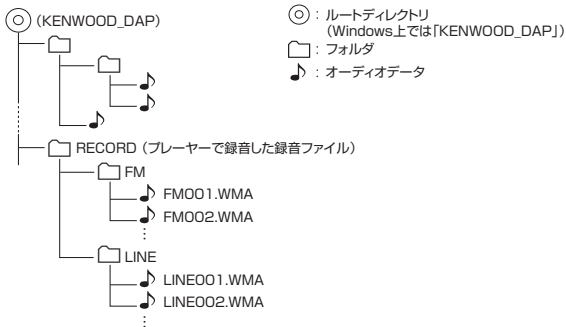
4 **バンドを選択します。**

5 **レベルを設定します。**

手順4と5を繰り返して、各バンドごとにレベルを設定します。

6 **決定します。**

MEMO

- お買い上げ時の状態では、サプリームは「オフ」、サウンドモードは「NORMAL」に設定されています。
- サプリームとサウンドモードを同時に使用することはできません。
- FMラジオやライン入力時には音質を調整することはできません。サプリームは「オフ」、サウンドモードは「NORMAL」ポジションに固定となります。

ファイルを見る

本プレーヤーに保存されているファイルのリストを表示します。

1 **「フォルダ」を選択します。**

2 **下の階層のフォルダを選択します。**

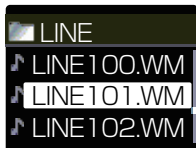
フォルダ内のファイルのリストが表示されます。

- 「フォルダ」内のフォルダ構成は使用状況によって異なり、階層数も一定ではありません。このため、ファイルのリストを表示するときには、ファルダの階層に合わせて、手順2を繰り返す必要があります。

曲を削除する

本プレーヤーで録音したファイル（FMxxx.WMA、LINExxx.WMA）やパソコンから転送したファイルを削除できます。

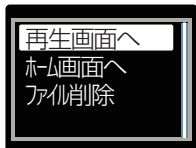
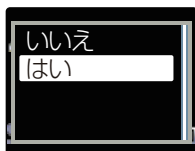
1 **「フォルダ」を選択します。**

2 **削除する曲（ファイル）を選択します。**

3 **ポップアップメニューを表示します。**

4 **「ファイル削除」を選択します。**

再生画面へ
ホーム画面へ
ファイル削除

5 **確認します。**

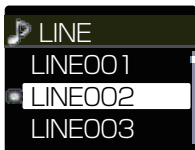
いいえ
はい

● 削除した曲を元に戻す方法はありません。間違いのないように慎重に操作してください。

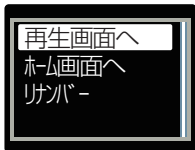
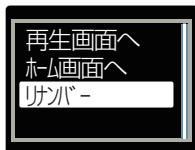
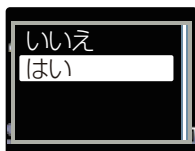
● エクスプローラでリムーバブルディスク（KENWOOD_DAP）内のファイルを削除することによって、プレーヤー内の曲を削除することもできます。

録音番号を連続させる

録音ファイルの番号が「999」に達すると、途中の番号が空いていても、それ以上録音できません。
このような場合には、録音ファイルの番号を付けなおします（リナンバー）。

1 **「録音ファイル」を選択します。**

2 **リナンバーするフォルダを選択します。**

「FM」または「LINE」を選びます。

3 **ポップアップメニューを表示します。**

4 **「リナンバー」を選択します。**

5 **確認します。**

スリープタイマーとアラームタイマー

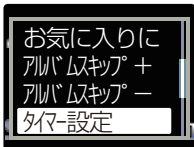
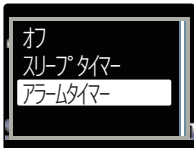
スリープタイマーを使うと、設定時間後にプレーヤーの電源をオフにできます。
また、アラームタイマーを使うと、設定時間後にアラーム（ビープ音）を鳴らすことができます。

1 **ポップアップメニューを表示します。**

再生画面、FMラジオ画面、またはライン入力画面が表示されているときに操作します。

2 **「タイマー設定」を選択します。**

3 **設定するタイマーを選択します。**

いろいろな設定や調整

4

動作時間を指定します。

1分から120分の間から1分間隔で設定できます。

5

タイマーを動作させます。

- 手順3で「オフ」を選択すると、タイマーをオフにできます。
- スリープタイマーとアラームタイマーの両方を同時に使用することはできません。
- アラームタイマーで鳴っているアラームは、どれかボタンを押すと止まります。
- 電源を切るとタイマーの設定は解除されます。

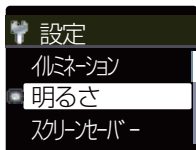
各種の設定

ボタンのインジケータの調整、スクリーンセーバー、オートパワーオフなど、お好みに合わせて設定できる機能があります。

1 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2 **設定メニューを表示します。**

3 **設定項目を表示します。**

たとえば、ディスプレイの明るさを暗くするときは「明るさ」を選択し、設定項目を表示します。

4 **設定を行います。**

1つの設定が終わると、設定メニューに戻ります。
左ボタンを押すと、設定せずに前の画面に戻ります。

設定できる項目

● ボタンの表示ランプの設定（イルミネーション）

ボタンについている表示ランプの点灯のしかたを選びます。

High*	明るい
Mid	標準
Low	暗い
オフ	消灯

（*はお買い上げ時の設定）

● ディスプレイの明るさ（明るさ）

表示する画面の明るさを選びます。

High	明るい
Mid*	標準
Low	暗い

（*はお買い上げ時の設定）

● ディスプレイの省電力（スクリーンセーバー）

操作をしないとき、ディスプレイを省電力モードにするまでの時間を選びます。

3秒、5秒、10秒*、30秒、60秒

（*はお買い上げ時の設定）

● オートパワーオフ

再生していない状態で操作をしないまま、ここで設定した時間が過ぎると、電源がオフになります。

1分、3分、5分*、10分

（*はお買い上げ時の設定）

● 操作音（ビープ）

ボタンを押したときの操作音を選びます。

オン*	操作音を鳴らす
オフ	音を消す

（*はお買い上げ時の設定）

● ディスプレイのテーマカラー

ディスプレイの表示色を4色から選びます。

● 言語

ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます。

ENGLISH、日本語*、DEUTSCH、FRANCAIS、ESPAÑOL、ITALIANO、NEDERLANDS

（*はお買い上げ時の設定）

● システム情報

プレーヤーのシステム情報（メモリ空き容量、メモリ総容量、全ファイル数、モデルID、バージョンナンバー）がディスプレイに表示されます。

システム情報の表示を消す場合は、プレイ/ポーズボタンを押します。

メニュー言語を設定する

ディスプレイに表示する言語を選びます。

1

ホーム画面を表示します。

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2

設定メニューを表示します。

「設定」を選択します。

3

言語のリストを表示します。

「言語」を選択します。

4

言語を選択します。

目的の言語を選択します。

初期化する／フォーマットする

プレーヤーに保存されている音楽ファイルなどをすべて削除する場合は、フォーマットを行ってください。
また、設定メニューなどで行ったプレーヤーの設定をお買い上げ時の状態に戻したい場合は、初期化を行います。

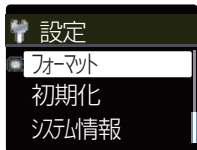
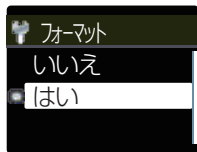
《注意》

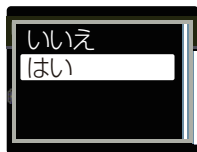
- フォーマットはすべてのファイルを削除します。デモ曲も削除されて戻すことができません。設定メニューの状態は消えません。
- 初期化は設定メニューをお買い上げ時の状態に戻します。音楽データなどは消えません。
- いったんフォーマットしたメモリの内容は元に戻せません。間違いのないように慎重に操作してください。

1 **ホーム画面を表示します。**

左ボタンを押し続けます。
ホーム画面が表示されます。

2 **設定メニューを表示します。**

3 **「フォーマット」または「初期化」を選択します。**

4 **「はい」を選択します。**

5 **間違いのないことを確認し、「はい」を選択します。**

MEMO

● パソコンで本プレーヤー（Windows上では「KENWOOD_DAP」）をフォーマットすることもできます。パソコンでフォーマットする場合は、ファイルシステムを「FAT32」で行ってください。

Operating instructions

Setting the display language to English

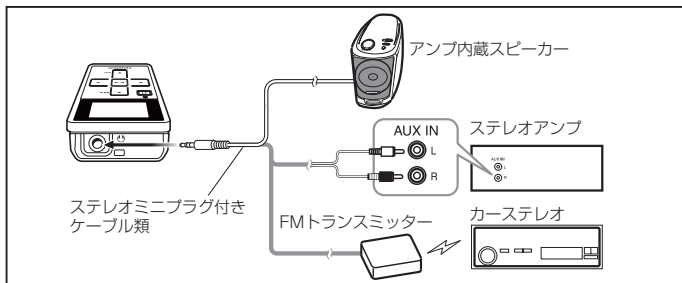
Keep pressing the left button to show the home screen. And then follow the instruction shown below to select "ENGLISH".

Function of each button

Button	When in play mode of music files	When in FM radio mode
▷/II	**Play mode:** Lets playback pause temporarily. **Pause mode:** Resumes playback.	Each press of the button switches the tuning mode in order of "Auto" → "Manual" → "Preset".
△	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down). Press and hold to fast reverse the track. **Pause mode:** Each press skips to the beginning of the current track (Skip-down). Press and hold to skip to the previous tracks one after another.	**Auto:** Automatic tuning by decreasing the tuned frequencies. **Manual:** Decreases the frequency. **Preset:** Recalls the previous preset number.
▽	**Play mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to fast forward the track. **Pause mode:** Each press skips to the beginning of the next track (Skip-up). Press and hold to skip to the subsequent tracks one after another.	**Auto:** Automatic tuning by increasing the tuned frequencies. **Manual:** Increases the frequency. **Preset:** Recalls the next preset number.
	Common	
◁	Displays the previous list. Returns to the home screen.	
⏻ / [→]	Press and hold to switch the power ON/OFF. Display the pop-up menu. Press when the display is turned off (screen saver mode) to turn on the display.	

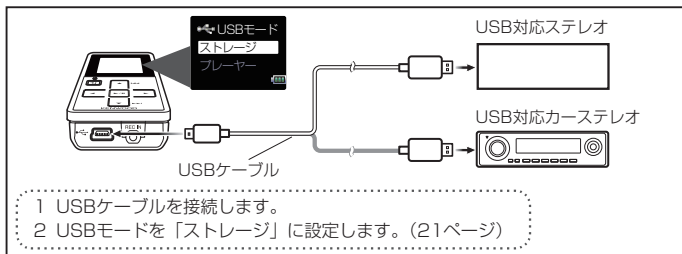
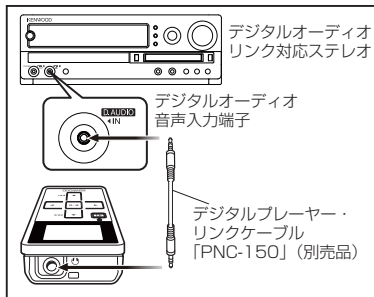
外部機器との接続について

ヘッドホン端子を使うと、アンプ内蔵のスピーカーなどの外部機器と接続することができます。
USB端子を使って、USB接続に対応したステレオに接続することができます。

ヘッドホン端子に接続するとき

MEMO

- 接続する外部機器の入力端子に合わせて、オーディオケーブル（市販品）を用意してください。
- FMトランスミッターをご使用の場合は、車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生することがあります。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。故障の原因になります。

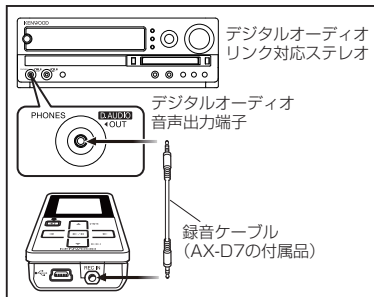
USB端子に接続するとき

1 USBケーブルを接続します。
2 USBモードを「ストレージ」に設定します。(21ページ)

MEMO

- 操作方法や再生できるファイルについては、接続したステレオの取扱説明書をご覧ください。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。故障の原因になります。

デジタルオーディオプレーヤーリンクについて

本プレーヤーをデジタルオーディオプレーヤーリンク対応のケンウッド製オーディオ機器と接続すると、本プレーヤーでの再生や録音を外部オーディオ機器から操作できます。

再生するとき

1 本プレーヤーの電源を入れます。
2 接続したステレオのインプットセレクターをデジタルオーディオにします。
● 接続したステレオの本体キー、およびリモコン操作で「再生/一時停止」「スキップアップ・ダウン」や「フォルダスキップ（アイテムスキップ）」などが操作できます。

※ デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種
：AX-D7、ES-A5MD、MDX-L1、R-K801、SV-3MD（2006年9月現在）

録音するとき

1 本プレーヤーの電源を入れます。
2 録音ソースをステレオのインプットセレクターで選びます。
3 ステレオで録音の操作手順を行い、録音を開始します。
4 ステレオの停止ボタンを押して、録音を停止します。

※ デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種：AX-D7（2006年9月現在）
※ 自動的に[シンクロ録音]が「オン」に、[録音レベル]が「Mid」に設定されます。

● デジタルオーディオプレーヤーリンクの詳細や操作方法については、デジタルオーディオプレーヤーリンク対応オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
システムエラー	本プレーヤーの動作で異常が発生しました。ホームページのサポート情報をご覧になり、リカバリーを行ってください。それでも復旧しない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。
ファイルシステムエラー	本プレーヤーのファイルシステムで異常が発生しました。 本プレーヤーをフォーマットしてください（67ページ）。
サポート外のファイルです	本プレーヤーでサポートされていない形式のファイルを再生しようとしました。 本プレーヤーで再生できるファイル形式は、「定格」をご覧ください。（74ページ）
プリセットされていません	FMラジオ局が1局もプリセットされていません。プリセット選局は、FMラジオ局をプリセットしてから使用してください。
メモリーがいっぱいです	メモリーがいっぱいで録音できません。 さらに録音する場合は、先に不要な曲を削除してください（58ページ）。
録音曲数がいっぱいです	FMラジオまたは外部オーディオ機器から録音したファイルの番号が「999」に達しているため、これ以上録音できません。さらに録音する場合は、不要な曲を削除し、曲番号を付けなおしてください（58、60ページ）。
コンテンツがありません	本プレーヤーにパソコンから転送した曲などの再生できる曲が保存されていません。

● 製品に関する一般的なご質問や問い合わせの多い内容などをホームページに掲載しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

故障かな？と思ったら

本機では、パソコンを利用することでリカバリー（復元）をすることができます。電源が入らない、時々電源が落ちる、正しく表示されないなど、故障と思われるような症状が発生した際には、是非一度お試しください。
詳しくはホームページのサポート情報をご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

症状	対策
電源が入らない、ボタンを押しても操作できない。	ホールド機能がオンになっています。 側面のHOLDスイッチでホールド機能を解除してください（18ページ）。
	電池の残量が無くなっています。 充電式電池を充電するか、アルカリ乾電池を新品に交換してください。
	電源ボタンは電源が入るまで押し続けてください。
	パソコンと接続中です。 本プレーヤーをパソコンにストレージモードで接続しているときは、プレーヤーは操作できません。
充電してもすぐに残量がなくなる。	充電式電池が劣化しています。 新しい充電式電池NB-3A90に交換してください。
音が聞こえない。	ヘッドホンが正しく接続されていません。 ヘッドホンと本体を正しく接続してください。
充電できない。	USBケーブルが正しく接続されていません。 プレーヤー側とパソコン側のコネクタを確認してください。
	専用の充電式電池以外を使用している。 本プレーヤーで充電できる充電式電池は付属または別売のNB-3A90だけです。
パソコンがプレーヤーを認識しない。	本プレーヤーとパソコンがプレーヤーモードで接続されています。 ストレージモードを選択してください。
	USBケーブルに不具合があります。 別のUSBケーブルに変えて接続してください。
	パソコンと正しく接続されていません。 パソコンと本プレーヤーの接続を確認してください。

定格

内蔵フラッシュメモリー
M2GC7：2 GB
M1GC7：1 GB
M512C5：512 MB

ヘッドフォン出力
：3.5 mm ステレオミニジャック
：4.5+4.5 mW/16Ω

ライン入力（M2GC7、M1GC7）
：2.5 mm ステレオミニジャック
最大入力レベル：2V rms

インターフェース
：USB 2.0（USB 1.1 互換）

表示画面
：1.1インチ カラー有機ELディスプレイ

本体寸法（幅×高さ×奥行）
：37.0 mm×67.0 mm×15.5 mm

重量
：約44 g（電池装着時）
：約31 g（電池非装着時）

電源（電池タイプ）
：単4形ニッケル水素充電式電池
：単4形アルカリ乾電池

充電時間
：約3時間

電池持続時間 *1

	充電式電池	アルカリ乾電池
連続再生時間		
MP3(128 kbps)	約10	約11
WMA(64 kbps)	約8	約8.5
FM放送受信時間	約5.5	約5
FM放送録音時間 WMA(128 kbps)	約3.5	約2.5
ライン録音時間 WMA(128 kbps)	約5	約4

（時間）

最大ファイル数
：3,000

最大フォルダ数
：4,000

最大収録時間／曲数 *2
M2GC7：約64時間／約960曲
M1GC7：約32時間／約480曲
M512C5：約16時間／約240曲

再生フォーマット

MP3
サンプリングレート：44.1 kHz
ビットレート：64 ～ 320 kbps
可変ビットレート：64 ～ 320 kbps
ID3タグ：ver. 2.2、2.3、2.4

WMA（DRM対応）
サンプリングレート：44.1 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート：32 ～ 355 kbps

WAV
サンプリングレート：44.1 kHz
ビット数：16 bit
チャンネル：ステレオ、モノラル

FM 受信部（M2GC7、M1GC7）

	日本	その他の地域
受信周波数	76.0 ～ 90.0 MHz	87.5 ～ 108.0 MHz
周波数ステップ	100 kHz	50 kHz
チャンネル	ステレオ/モノラル	
プリセット数	32	

録音形式（M2GC7、M1GC7）
：WMA（44.1 kHz、64/96/128 kbps、ステレオ）

最大録音時間（他のファイルがないとき）

WMA(ビットレート)	M2GC7	M1GC7	M512C5
128 kbps	約32	約16	約8
64 kbps	約64	約32	約16

（時間）

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

*1 付属のヘッドホン使用、Supreme「オフ」、サウンドモード「NORMAL」、無操作のとき
*2 64kbpsのWMA形式で1曲約4分の場合。

ケンウッド全国サービス網（2006年9月現在）

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

北海道

札幌サービスセンター ☎ (011) 743-7740
〒 007-0834 札幌市東区北 34 条東 14-1-23

東北

仙台サービスセンター ☎ (022) 284-1171
〒 984-0042 仙台市若林区大和町 5-32-12（サンライズ大和 1F）

盛岡サービスステーション ☎ (019) 646-2311
〒 020-0124 盛岡市厨川 4-5-11

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ (048) 647-6818
〒 330-0801 さいたま市大宮区土手町 1-2（JA 共済埼玉ビル 1F）

千葉サービスステーション ☎ (04) 7163-1441
〒 277-0081 柏市富里 1-2-1

横浜サービスセンター ☎ (045) 939-6242
〒 226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2

東京サービスステーション ☎ (03) 3363-1650
〒 169-0073 新宿区百人町 2-16-15（MY ビル 1F）

新潟サービスステーション ☎ (025) 287-7736
〒 950-0923 新潟市姥ケ山 1-5-37

中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎ (052) 917-2550
〒 462-0861 名古屋市北区辻本通 1-11

静岡サービスステーション ☎ (054) 262-8700
〒 420-0816 静岡市葵区沓谷 5-61-1

松本サービスステーション ☎ (0263) 26-7331
〒 390-0832 松本市南松本 2-7-30（昭和ビル 2F）

金沢サービスステーション ☎ (076) 265-5045
〒 920-0036 金沢市元菊町 21-87

近畿・四国

大阪サービスセンター　☎ (06) 6394-8075
〒 532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

高松サービスステーション　☎ (087) 835-2413
〒 760-0068　高松市松島町 3-1

中国

広島サービスセンター　☎ (082) 832-2210
〒 731-0137　広島市安佐南区山本 1-8-23

九州

福岡サービスセンター　☎ (092) 551-9755
〒 815-0035　福岡市南区向野 2-8-18

鹿児島サービスステーション ☎ (099) 251-6347
〒 890-0063　鹿児島市鴨池 2-15-10（パレス鴨池 1F）

沖縄サービスステーション　☎ (098) 874-9010
〒 901-2101　浦添市西原 4-36-17

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内：
  午前 10 時から午後 6 時まで
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター
ナビダイヤル　☎ 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は ☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553
〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内：
  月曜～金曜　午前 9 時 30 分から午後 6 時
  土曜　午前 9 時 30 分から午後 12 時、午後 1 時から午後 5 時 30 分
  （日曜、祝日及び当社休日を除く）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1.保証について

- **保証書**ー製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**ーお買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「**故障かな？と思ったら**」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電池や電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
  ① 技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  ② 部品代： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  ③ 出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  ④ 送料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. **次の場合には保証期間内でも有料になります。**
   (1) 保証書のご提示のない場合。
   (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
   (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
   (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
   (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
   (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等) の交換。
   (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)
7. **保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	デジタル オーディオ プレーヤー	形名	M2GC7 M1GC7 M512C5
保証対象	本体	保証期間	（お買上げ日より） 1 年間
※お買上げ日	年　月　日		
※お客様	お名前　様 ご住所 電話番号　（　）		
※販売店	店名 住所 電話番号　（　）		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※日曜、祝日及び弊社休日を除く

0570-010-114

※一般電話·公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

※ 保証書は 79 ページに付いています。

大豆油インキを
使用しています

古紙配合率100%再生紙を使用しています

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3